

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 元年 6 月 21 日現在

機関番号：33801

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K04561

研究課題名(和文)国際化社会に生きる青少年の共生を目指した教材モデルの開発に関する研究

研究課題名(英文)Research on Development of Teaching Material Model Aiming at Symbiosis of Young People Living in an Internationalized Society

研究代表者

白鳥 絢也 (JUNYA, SHIRATORI)

常葉大学・教育学部・准教授

研究者番号：40600383

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、ブラジルで使用されている教科書の分析を通じて、多文化の「共生」に向けた実用化に資する教材モデルを構築することを目的とした。また、南米日系人児童生徒の学習社会への参加を促す教育方法について、学問的且つ実践的な観点から知見を得ることができた。具体的には、ブラジルの教科書を分析して、日本とブラジルの子どもに共通するテーマおよび内容を掘り起し、「共生」の観点を洗練させることに繋がった。

日本とブラジルの共生に資する「ユニバーサルデザイン教材モデル」の構築により、以下のことを提言した。
基礎的な能力の養成、 自立的な学習の促進、 協同学習としての教材モデルの活用。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本とブラジルの共生に資する「ユニバーサルデザイン教材モデル」の構築により、以下が可能となる。

基礎的な能力の養成：特に基本的な用語や概念を理解する反復練習が必要な「表面的な学習(Surface Learning)」を強化できる。 自立的な学習の促進：学習者自らのペースで学習を進めることができ、知的探究心を高めることが可能になる。 協同学習としての教材モデルの活用：個々の学習の促進かつ従来の母学級における集団学習をも活性化させる。さらには、ブラジル人児童の多様性により、母国へ帰国する際に生ずる再適応の問題(母語・アイデンティティ等)への対応が可能となる。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to build models for teaching materials for multicultural coexistence “kyosei” by analyzing textbooks used in Brazil. We could find teaching methods that help Japanese-Brazilian children and students take part in learning society from academic and practical perspectives. Specifically, common theme and contents between Japanese & Brazilian children were found. And that made Japanese and Brazilian children to deepen their interests in “kyosei”. Building “models for universal design teaching materials” based on “kyosei” between Japan and Brazil proposed the following things : (1) improving of basic academic ability. (2) encouragement of study by oneself. (3) development of models for teaching materials to study with groups.

研究分野：社会科学

キーワード：ブラジルの教科書 多文化共生 外国人児童生徒教育 日系移民 ユニバーサルデザイン教材モデル
多文化社会の形成

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究チームは、日本の子どもとブラジルの子どもの共生を目指した教材モデルは何かという問いに向けて学術的探求を深めてきた。その際重視してきたことは、国際理解のための教材モデルを作成することを念頭に、公立小学校に在籍する南米日系人児童から見てきた学習ニーズと学習環境を把握し、その実践的な知見を最大限に生かすことである。

(2) 本研究はあくまで日本の学校内での対応であるという視点を基本におき、現実の中から、そして国際化の進展の現状を踏まえて、真の異文化理解を探り、実践的・効果的な外国人児童生徒教育を模索していかなければならないと考えている。しかし残念ながら、外国人児童生徒及び日本人児童生徒両者にとって有益であるという視点からの教材開発は不十分である。現状では、日本の現行教科書の一部を母語に翻訳したものや諸外国の生活・文化(衣食住)に関する教養が中心であるが、それらはあくまで日本人が考え作った教材である以上、外国人児童生徒がその内容になじめない場合も確かに存在する。もはや「共生教育」の視点からの教育の内容・方法を更に検討すべき時期に来ているのである。

(3) そこで本研究では「ブラジル本国で使用されている教科書」(小学校国語・社会)に着目し、選択した教科書の分析を通して、日本の子どもとブラジルの子ども両者のアイデンティティを生かしつつ、両者が共生できるための「教材モデル」を開発することを目指している。

2. 研究の目的

(1) 本研究の目的は、ブラジルで使用されている教科書(小学校国語・社会)の分析を通じて、多文化の「共生」に向けた実用化に資する教材モデルを構築することである。本研究の目的を遂げることにより、わが国の公立学校に在籍する南米日系人児童生徒の自律的な学習を促進し、且つ多様な学力レベルや学習ニーズ、学習目標にも個別に対応することのできる評価の基準を確立する。

(2) また、彼らの学習社会への参加を促す教育方法について、学問的且つ実践的な観点から知見を得る。具体的には、ブラジルの教科書を分析して、日本とブラジルの子どもに共通するテーマおよび内容を掘り起し、「共生」の観点を洗練させる。彼らが在籍する日本の公立小学校の中で、相互理解のための学習材から「ユニバーサルデザイン教材」の作成までの総合的な教材モデルを開発して効果を検証する。

3. 研究の方法

(1) 三か年を通し、グローバルな視野と学際的アプローチからの教材モデルの構築を行う。研究協力者がPTA 外国人代表を務める浜松市内の公立小学校及び研究分担者が交流を持つブラジル・サンパウロ大学との協働・連携及び国内の多分野の研究者からなる学際的な布陣により研究を強力に推進する。なお、研究代表者はブラジル政府推薦教科書(2013年度版, 小学校1~4年生, 国語・社会・算数・理科)を入手済みである。本教科書は2013年3月、「在浜松ブラジル総領事館」ジョゼ・アントニオ・ピラス総領事より研究を目的として提供されたものである。

(2) 第一年度は、まず外国人児童生徒教育に関する先行研究を改めて詳細に吟味し、その特徴・問題点を指摘するとともに、選択したブラジルの教科書を分析する。これらの過程を経て、ブラジル人児童及び日本人児童両者の多文化共生を助長する教材モデルを抽出し、その妥当性の検証を開始する。後半から、仮説的に一部小学校において実践する。

(3) 第二年度は、まず異文化理解の前提としてのブラジル現地の社会や生活、教育の環境等の史的変遷について、実態がどうであったかを文献により調査する。次いで、浜松市内に在住しているブラジル人児童の学習・生活の実態を調査・検討する。研究フィールドである浜松市内の公立小学校のみならず、浜松市教育委員会及び在日ブラジル人学校をも訪問する。また、ブラジル本国で使用されている教科書を研究目的として提供された「在浜松ブラジル総領事館」との連携・情報交換を密に行う。さらに、ブラジル本国における実態を調査する。(サンパウロ大学との協働・連携) 後半から、抽出された教材モデルの修正を行い、改めて小学校において実践する。

(4) 第三年度は、教材モデルの完成を目指し、前年度までに行った理論的・実証的研究を詳細に吟味しつつ、わが国の学校での実践を視野に作成した教材モデルの運用面の最終評価を行う。また、三年間の成果の公表と共有を国内の多文化教育関係の学会・研究会に対して積極的に行う。そのうえで、ブラジルの教育界へも成果を発信・共有し(Skype 会議等) 合意形成を図る。日本とブラジルの共生に資する教材モデルが完成し、そのモデルに対する総合的な評価として、「ユニバーサルデザイン教材モデル」が構築されたということができると考えている。

4. 研究成果

(1) 第一年度は、まず外国人児童生徒教育に関する先行研究を改めて詳細に吟味し、その特徴・問題点を抽出した。特に、わが国における多文化教育をめぐる中で、本研究の対象である日系ブラジル人だけではないユニバーサルアクセス型の学習支援への転換の必要性について新たな知見を得た。(研究フィールドである浜松市において急増するフィリピン人支援等)同時に、外国人児童生徒教育から、ユニバーサルデザインの多文化教育への転換の位置付けが求められることを指摘した。

これらのことから、当初第一・二年度に予定していたブラジル本国調査を第二年度のみとし、新たにフィリピン・ダバオ市における調査を加えた。「ユニバーサルデザイン教材」の作成までの総合的な教材モデルの開発に寄与することを意図した試みである。そのため、選択したブラジルの教科書分析及び教材モデルの抽出、その妥当性の検証、小学校における授業実践等については二次以降より実施することとした。

具体的には、フィリピン・ダバオ市において多文化教育が実施されている現場での授業観察を通して、フィリピンの子どもの生育環境や教育環境を学んだ。これにより、フィリピンの子どもへの理解を深め、「ユニバーサルデザイン教材」の作成へ多くの示唆を得ることができた。

(2) 第二年度は、まず異文化理解の前提としてのブラジル現地の社会や生活、教育の環境等の史的変遷について、実態がどうであったかを文献により調査した。次いで、浜松市内に在住しているブラジル人児童の学習・生活の実態を調査するとともに、研究フィールドである浜松市の教育委員会や在日ブラジル人学校との連絡・調整を行った。(第三年度における訪問や授業実践について)また、「在浜松ブラジル総領事館」より研究目的として提供されたブラジル本国で使用されている教科書について、研究分担者・研究協力者と協議し、扱う単元等について目途が立った。さらに、ブラジル実地調査を行い(サンパウロ) 現地における教科書について具体的な示唆を得ることができた。実地調査については以下の通りである。

「カエルプロジェクト」: ブラジルの公立小中学校に通うブラジル人出稼ぎ子弟を対象にポルトガル語職字と補習面での支援活動を行っている。「教科書」については、公立学校では「移民受け入れの歴史」についての記載はあるが、移民国家としての市民性に関する教科書の記載は少ない。また、ブラジルにおける人種・民族が融合した多文化社会の形成に関して、教科書の貢献はほとんど見られない。教員も児童に対して、多文化社会の構成員としての態度・姿勢などを指導することは少なく、多文化に対する態度及び異なる人種・民族との共生は、学校に入学する前に家庭の中で自然と醸成されるという認識である。

「Erico de Abreu Sodre」: サンパウロ市内の公立小学校。教育省検定教科書を使用しているが、学校では教科書を重視していない。主として教員が選択した補助教材を用いての授業が公立小学校の現状である。

「Colégio Oshiman」: 私立日系学校(松柏学園)。教育省検定教科書を使用しているが、教科書の内容ではなくどう扱うかを重視する。授業内における教科書の役割は2割という認識であり、私立も公立と同じ傾向である。

「Aliança Cultural Brasil e Japao」: 日伯文化連盟・日本語学校。テキストは「まるごと 入門編 A1 かつどう」<https://www.marugoto.org> を使用しており、ネット上から取得可能である。

(3) 第三年度は、第一・二年度に行った理論的・実践的研究に基づき、日本の子どもとブラジルの子ども両者のための教材モデルの開発について、わが国の学校での実践を視野に入れた独自の研究を完成させた。外国人児童生徒教育の研究でこのように「教材」に焦点を絞り、しかも南米日系人の子ども・日本の子ども両者への適用を目指したものは皆無であり、研究・実践・行政の三者に役立つものと確信している。分析した教科書の特徴については以下の通りである。

「国語科」教科書: 教科書内に絵を描いたり文章を書いたり等、多くの作業が盛り込まれていることが特徴である。子どもが楽しい学習活動を通して、主体性や創造性を育成しようとしている構造は、わが国の教科書にとっても示唆を与えるものといえる。

これらから、(1)絵や文章を描き込む箇所や、切り取って本を作るなどの作業が多く盛り込まれており、(2)子どもたちが遊ぶような感覚で学習に取り組むことができるつくりとなっていることが特徴として挙げられる。「国語科」の教科書を通して、ブラジルの子どもたちは判断力や行動力、自ら問題を解決していこうとする態度や能力が育まれると考えられる。

「社会科」教科書: まず内容の構成に特徴が見られる。具体的には、学校生活に関する単元とそれ以外の家庭や地域社会に関する単元とがはっきり区別されている。教科書の前半部では、子どもの学校生活と関連ある身近な内容を取り上げているが、中盤以降は学校外の事柄、例えばブラジル国内のさまざまな街や仕事、公共の機関や動植物、環境問題等が取り上げられている。最終部にはブラジル国内の「記念日」を取り上げており、ブラジル人としての誇りを

持たせる努力をしていることが読み取れる。

これらから、(1)ブラジルの現実社会を踏まえた内容で構成され、(2)それを子どもの学習の深まり、広がりや考慮して体系性(具体的で身近な現実から地域・社会・国家への広がり)を重視した教科書作成が行われていると理解できる。「社会科」の教科書を通して、ブラジルの子どもたちは貧困な自国の実情を学びながら、ブラジル社会で生きていくための力を身に付けていく必要性を認識することができると考えられる。

両教科書に共通していることとして、(1)練習問題が多数設定されていること、(2)教科書への書き込みが可能につくりとなっていることが挙げられる。教科書にさまざまな作業が盛り込まれていることから、子どもの主体性や行動力、自ら考える力の育成といったねらいが伺われる。改めて特徴をまとめておけば、子どもたちは自国の実情を学び、さまざまな作業が盛り込まれた学習をしており、ブラジルの教育は自国の実情を正確に理解し、ブラジルで生きていくための判断力や行動力、問題解決能力等を身につけた人間を育てようとしている、という要点にまとめられよう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計4件)

白鳥 紇也・津村公博・澤田敬人、柳澤クリスティーナ照美「多文化共生に向けた「ユニバーサルデザイン教材モデル」の開発に関する研究」常葉大学『外国語学部紀要』(第35号)所収、査読無、pp.17-28、2019年3月

DOI : <http://doi.org/10.18894/00001743>

白鳥 紇也「世界の学校文化を楽しむ - 比較教育学の視点から - 」日本比較文化学会『比較文化研究』(134)所収、招待有、pp.5-8、2019年1月

<https://ci.nii.ac.jp/naid/40021828201>

〔学会発表〕(計12件)

白鳥 紇也・津村公博・澤田敬人「ブラジルの教科書における日系移民の歴史」日本比較文化学会第10回中部支部大会「発表抄録」p.2、椋山女学園大学、2018年11月11日

白鳥 紇也「多文化の「共生」に向けた実用化に資する教材モデルの構築 - ブラジルで使用されている教科書の分析を通じて - 」日本教材学会第30回研究発表大会「研究発表要旨集」pp.139-140、学校法人福山大学宮地茂記念館、2018年10月20日

白鳥 紇也・津村公博・澤田敬人「国際化社会に生きる青少年の共生を目指した教材モデルの開発に関する研究 - ブラジル現地調査の経過報告 - 」日本比較文化学会中部支部平成29年度例会「発表抄録」p.5、名古屋国際センター、2018年3月31日

白鳥 紇也・澤田敬人・津村公博「国際化社会に生きる青少年の共生を目指した教材モデルの開発に関する研究 - ブラジルの教科書事情と内容分析を中心に - 」日本比較文化学会中部支部平成28年度例会「発表抄録」p.3、椋山女学園大学、2017年3月26日

澤田敬人・白鳥 紇也・津村公博「日本の多文化教育をめぐる一考察 - ユニバーサルデザインまでの戦後史から - 」韓国日本文化学会国際学術大会、忠南大学、2016年10月22日

白鳥 紇也・津村公博・澤田敬人「国際化社会に生きる青少年の共生を目指した教材モデルの開発に関する研究 - 3ヵ年計画の検証を中心に - 」日本比較文化学会第9回中部支部大会「発表抄録」p.6、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」、2016年9月15日

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：津村 公博

ローマ字氏名：(TSUMURA, kimihiro)

所属研究機関名：浜松学院大学

部局名：現代コミュニケーション学部

職名：教授

研究者番号(8桁)：30310551

研究分担者氏名：澤田 敬人

ローマ字氏名：(SAWADA, takahito)

所属研究機関名：静岡県立大学

部局名：国際関係学部

職名：教授

研究者番号 (8 桁): 20254261

(2)研究協力者

研究協力者氏名 : 柳澤 クリスティーナ 照美 (星槎大学・非常勤講師)

ローマ字氏名 : (YANAGISAWA , cristina terumi)

研究協力者氏名 : 中川 郷子 (Projeto Kaeru / カエルプロジェクト代表)

ローマ字氏名 : (NAKAGAWA , kyoko)

研究協力者氏名 : 大元 麻美 (カトリック新聞記者)

ローマ字氏名 : (OHMOTO , asami)

研究協力者氏名 : 田島 喜代美 (浜松学院大学 / 文部科学省・大学教育再生加速プログラム専門員)

ローマ字氏名 : (TAJIMA , kiyomi)

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。